

提出 順番	No. 11	平成25年 3月 4日 午前・午後 2時45分
----------	-----------	----------------------------

平成 25 年 3 月 4 日

幕別町議会議長 古川 稔 様

幕別町議会議員 野原恵子



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>アレルギー給食の実施など学校給食の改善について</p>	<p>学校給食は 1947 年に飢餓に苦しむ子どもたちを救うために実施されました。初期の学校給食から発展した現代の学校給食は、1992 年文部省が発行した学校給食の手引きの中に①栄養のバランスの取れた豊かな学校給食②望ましい食習慣を形成する学校給食③人間関係を豊かにする学校給食④多様な教育効果のある学校給食の 4 つが役割として掲げられています。</p> <p>2005 年には、安全で安心した食品を確保し取り入れる事により、国民の健康と豊かな人間形成などを目標に食育基本法が制定され学校や保育所、施設等の食育指導が始まりました</p> <p>日本人は古来、穀物や芋、野菜、海草、味噌や醤油などの発酵物を中心に食べて命をつないできましたが、戦後数十年に起こった食生活や住宅の変化・公害・ストレスなどによって食物アレルギーが増え、体質そのものが変化し始めていると指摘されています。</p> <p>昨年 12 月、食物アレルギーで給食後に小学 5 年生の児童が死亡する大変痛ましい事故が東京でありました。学校でこのような事故を未然に防ぐためにも、対策を講じていくことです。</p> <p>また、これまでもアレルギー給食の実施を議会で求めてきましたが具体的な前進が見られません。</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	<p>児童の栄養の指導および管理を職務とする栄養教諭制度創設を盛り込んだ「学校教育法の一部を改正する法律案」が2004年5月に成立し、2005年度より実施され本格的な食育指導が始まり8年になります。給食を通して子どもを育てる視点からも栄養教諭の配置が求められます。</p> <p>また地場産食材の活用の促進・既成の加工品の使用を抑えるなど食の安全安心からも、学校ごとに給食を調理する「自校方式」に切り替えていくことはスローフードにも通じ、人間性豊かな食教育が可能になります。</p> <p>以下次の点について伺います・</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アレルギー給食の実施を 2 アレルギーについて教師・子どもが学び、緊急時に対応できる体制を 3 学校に栄養教諭の配置を 4 給食調理場は自校方式に